

第18回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

1 日時：令和2年6月26日（金） 15時00分～15時30分

2 場所：本庁3階 第3会議室

3 出席者：資料席次表参照

4 議事概要

（1）新型コロナウイルス感染症に関する相談件数及び特別定額給付金の状況等について

【保健福祉局】

新型コロナウイルス感染症に関する相談件数や、PCR検査数の推移について報告。

6月23日に発生した17例目の感染者についての状況の説明。

特別定額給付金の申請・給付状況及び申請勧奨について報告。

（2）学校再開後の状況について【教育委員会】

5月21日より市立小・中学校を再開して約1か月が経過したが、この間の学校の状況や、学校現場での感染予防策（ガイドライン）、熱中症対策及び学習指導について報告。

（3）岡山市トップチーム応援プロジェクトの実施について【市民生活局】

岡山市を拠点として活躍するトップチーム（ファジアーノ、シーガルズ、リベッツ、トライフープ）が実施する無観客のホームゲームに対する支援策について説明。

（6/27 ファジアーノのホームゲームでの横断幕の掲出）

（4）岡山市主催行事の開催に関する方針について【危機管理室】

岡山市主催行事の開催要件について、国の基本的対処方針を踏まえて、規模要件を緩和した市の方針を説明。

（5）その他：事業継続支援金の状況【産業観光局】

事業継続支援金の申請及び給付の状況について口頭で報告。

5 本部長指示事項等

本日の本部会議では、新型コロナウイルス感染症に関する相談件数や、特別定額給付金の状況、学校再開後の状況、岡山市トップチーム応援プロジェクトの実施（ファジアーノ岡山への支援）、岡山市主催行事の開催に関する方針、事業継続支援金の状況などについて報告があった。

各部署においては、感染予防対策を適切に講じながら、市民生活や社会経済活動の正常化に向け、可能な限り手を尽くしてもらいたい。

一昨日、市内で新たな感染者が発生したことを受けて、保健所長とも話をしたが、感染防止対策には、新しい生活様式の中でも、特に基本的な「手洗い」「身体的距離の確保」「マスクの着用」の3点が最も有効であり、特にこの3点について市民の皆様一人ひとりが実践するよう、改めてお願いしたい。

第18回新型コロナウイルス感染症対策本部会議

日 時：令和2年6月26日（金）
15時00分～15時30分
場 所：本庁3階 第3会議室

次 第

1 開 会

2 議 題

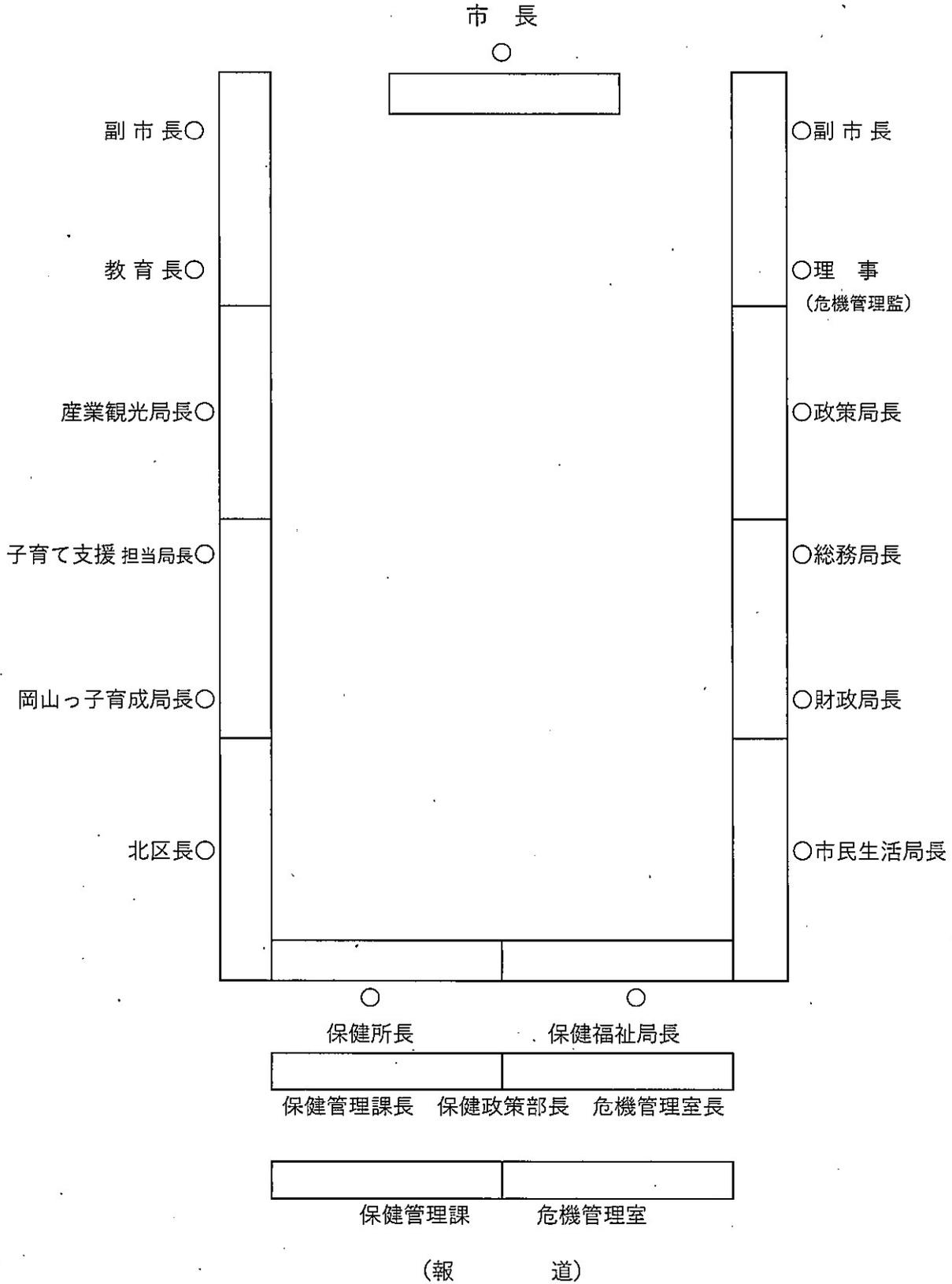
(1) 現時点における対応状況等について各局区室から報告

- ① 保健福祉局
- ② 教育委員会
- ③ 市民生活局
- ④ 危機管理室
- ⑤ その他

(2) その他

3 閉 会

新型コロナウイルス対策本部会議配席図
 (R 2.6.26 第18回)

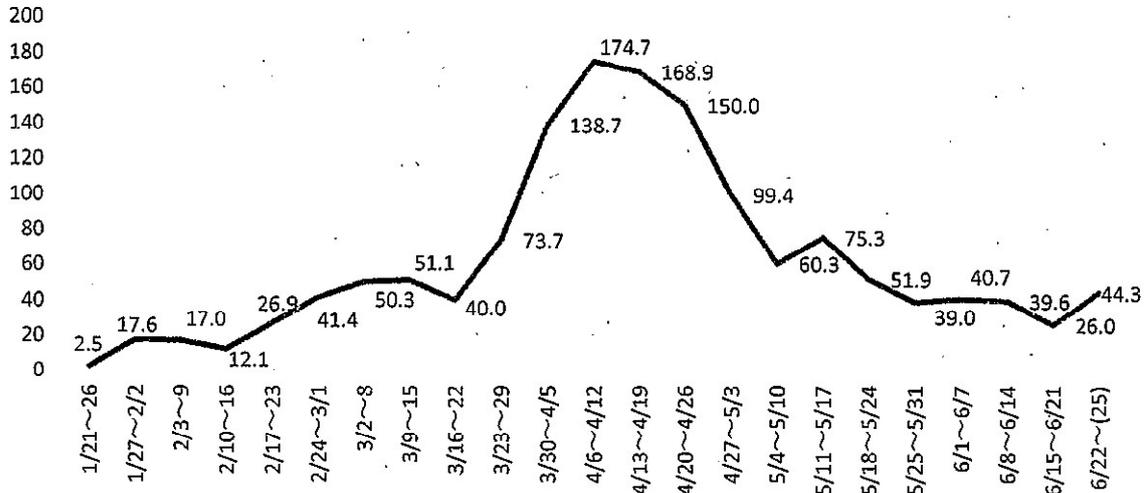


新型コロナウイルス感染症に関する相談等について

令和2年6月26日
第18回新型コロナウイルス
感染症対策本部会議資料
保健福祉局（保健管理課）

①保健所への相談件数の推移

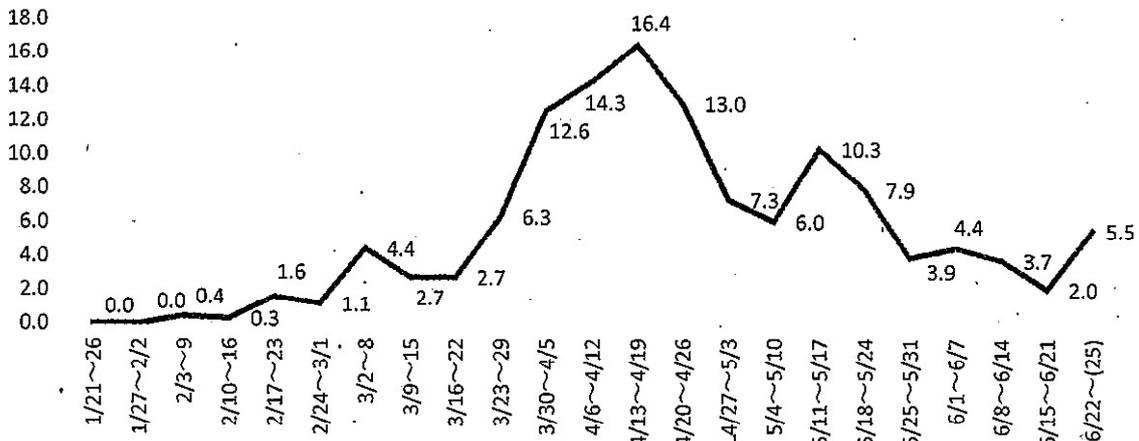
一日あたりの平均相談件数推移（件）



相談件数の累計は、相談開始の1/21~6/25までで9,954件となっている。
相談件数は患者発生（3/22）以降、増加していたが、4月中旬からは概ね減少傾向にある。

②PCR検査数の推移

一日あたりの平均検査件数推移（件）



新規陽性確認数(件)	1	1	4	3	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	(合計) 16
陽性率	5.3%	2.3%	4.5%	3.0%	3.5%	1.1%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	(平均) 2.0%
※陽性率 = {新規陽性確認数 / (一日あたりの平均検査件数 × 7)} × 100%																
(3/16~6/25)																

検査件数は、6/25までの累計871件…4月中旬に16.4件/日となった後は、徐々に減少傾向を示している。
……3月22日に市内1件目の陽性確認後、6月25日までに合計17件陽性。
※検査件数には退院時の確認検査は含まない。
※検査件数、新規陽性確認数には民間検査機関での検査を含まない。（このうち5/11新規陽性1件）

新型コロナウイルス感染症の市内発生等について

<17例目>

- 1 発生日 令和2年6月23日（火）
- 2 患者 男性 30歳代
- 3 概要

(1) 行動歴・経過

- 6月16日（火）発熱症状あり
- 6月17日（水）倦怠感もあるため、市内医療機関を受診
- 6月22日（月）新型コロナウイルス受診相談センターへ電話した後、新型コロナウイルス外来を受診
- 6月23日（火）PCR検査結果が陽性と判明
- 6月24日（水）感染症指定医療機関へ入院

(2) 濃厚接触者

現時点で1名（6月24日の検査結果は陰性）

<退院者の状況について>

（6月25日時点の延べ患者の入退院状況）

患者数	入院中	退院	（うち死亡退院）
17	1	16	0

特別定額給付金について

● 6月25日 時点の申請・給付状況

対象世帯数	332,779世帯
申請受付世帯数 (全世帯に対する申請割合)	317,749世帯 (95.48%)
給付済世帯数 (全世帯に対する給付済割合) (申請に対する給付済割合)	299,574世帯 (90.02%) (94.28%)
給付済金額	65,365,200千円

- ・6月中旬に、市内委託事業者の書類審査の人員増強等により、処理件数を加速させ給付件数を伸ばすことができたため、6月25日時点で、全世帯に対し約9割の世帯への給付に至る。(処理件数：約1万件/日→約2～3万件/日)
- ・高齢者世帯にはチラシを作成し、地域包括支援センター、介護支援専門員協会、配食サービス事業者等の関連団体へ6月中旬に協力を依頼し、申請し忘れがないか各世帯への訪問の際に声掛けを頂いている。
- ・未申請世帯に対して申請を促すため、6月末で対象者を把握し7月中旬に申請勧奨を行う予定。

学校再開後の状況について

岡山市立学校は、5月21日から学校を再開し、約1か月が経過した。児童生徒は元気に登校できており、自主的に欠席している児童生徒の数も減少傾向にある。今後も新型コロナウイルス感染症対策として、「新型コロナウイルス感染症予防のためのガイドライン（岡山市版6月22日時点）」に基づき、新型コロナウイルス感染症予防に努めてまいりたい。

1 学校の様子

- ・児童生徒は明るい表情で登校。落ち着いて過ごすことができている。
- ・自主的に欠席する児童生徒が減り、どのクラスもほぼ揃ってきた。
- ・教職員がマスクを着用したまま授業をしなければならない状態が負担となっている。
- ・部活動は各学校で活動内容を工夫し、順調に実施ができている。

2 新型コロナウイルス感染症予防のためのガイドライン（岡山市版）について（別紙参照）

【マスクの着用について】

学校教育活動においては、近距離での会話や発声等が必要な場面も生じうることから、飛沫を飛ばさないよう、児童生徒及び教職員は、基本的には常時マスクを着用することが望ましい。ただし、次の場合には、マスクを着用する必要はない。

- 1 十分な身体的距離（概ね2メートル）が確保できる場合
- 2 熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合
- 3 体育の授業
- 4 登下校時に、十分な身体的距離を確保できる場合

【熱中症対策について】

学校教育活動時における熱中症対策として、6月26日（金）までに全小・中学校の普通教室のエアコン設置が完了し、使用可能となる。エアコン使用時も換気が必要であることから、30分に1回以上数分間程度窓を全開して換気するよう指示している。

また、これまで同様に授業中であっても適宜水分補給を行うなど児童生徒の健康管理に配慮している。

【学習指導について】

体育の授業を除き、常時マスク着用が基本ではあるが、密集したり密接したりしないよう十分に配慮したうえで、短時間での話し合い活動等を含め、多くの教育活動を工夫しながら行ってもよい。

主にマスクについての改訂を行いました。「新しい生活様式」と併せてご確認ください。改訂部分は背景色をつけています。

岡山市版（6月22日時点）

新型コロナウイルス感染症予防のための ガイドライン

これからの学校生活において「新しい生活様式」を導入し、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を継続し、子どもたちの健やかな学びを保障していくことが必要です。各学校で、感染症の予防について、子どもたちと共に考え、行動できるようにしましょう。

<基本的な考え方>

- 子どもたち自らが3つの条件【換気の悪い密閉空間】【多くの人が密集】【近距離での会話や発声】について気付き、考え、回避(行動)することができるように指導していきましょう。
- 子どもたち自らが感染しないように、健康面や衛生面に注意を払い、行動することができるように指導していきましょう。
- 子どもたち自らが新型コロナウイルスについての正しい認識の下、互いの人権に配慮した行動ができるよう指導していきましょう。

本ガイドラインは「新型コロナウイルス感染症予防のためのガイドライン（岡山市版6月1日時点）」に、文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～（2020.6.16Ver.2）」（以降「新しい生活様式」と呼ぶ）に基づき、加筆したものです。

なお、この項目は、当面の間継続して取り組んでいただくものと考えますが、今後の感染状況の推移や最新の科学的知見を反映して適宜見直されることもあります。（概ね1か月に一度を目安）

保健福祉部局と協議の結果、岡山市の地域の感染レベルは、令和2年6月19日現在「**レベル1**」（⇒「新しい生活様式」P8）とします。

- 児童生徒等及び教職員の毎朝の検温、風邪症状の有無等の確認ができていますか？
 - ・児童生徒の毎日の健康観察記録表の記入と提出・確認の継続
 - ・教職員の健康管理（毎朝の検温の徹底、発熱がないこと）と風邪症状の有無の確認
 - ・校内で授業中に体調不良を起こし、37.5℃以上の発熱、日常の体温より1℃程度高くなっている等の児童生徒等を把握した場合は、保護者に連絡をとり迎えに来てもらうなど、当該児童生徒等を安全に帰宅させ、症状がなくなるまでは自宅で休養等指導
 - ・保護者の来校まで学校にとどまることが必要となるケースには、他の者との接触を可能な限り避けられるよう、別室で待機

□ 3つの条件【換気の悪い密閉空間】【多くの人が密集】【近距離での会話や発声】が同時に重なる場を避けることはもちろんのこと、できるだけ1つ1つの条件が発生しないようにするための工夫等を教職員の間で確認した上で教育活動を進めていますか？

（「新しい生活様式」P27-30）

- ・授業の進め方、学習活動の工夫については、別紙「学校再開に向けた学習指導に関すること（感染防止の視点）」参照
- ・換気の仕方・・・換気は気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに（30分に1回以上、数分間程度窓を全開する）、2方向の窓を同時に開けて行う。

【具体的な取組】

- ① 窓のない部屋は常時入り口を開けておいたり、換気扇を用いたりするなどして十分に換気に努め、人の密度が高くならないように配慮する。
 - ② 体育館などでも、換気は感染防止の観点から重要であり、広く天井の高い部屋であっても換気につとめること。
 - ③ エアコンを使用している部屋では、室内の空気を循環しているのみなので、エアコン使用時においても換気は必要。エアコンを作動させた中で、30分に1回以上、数分間程度窓を全開にする。
- ・密集の回避・・・〔レベル1地域〕児童生徒の間隔は1メートルを目安に学級内で最大限の間隔をとるように座席配置を取る。（「新しい生活様式」P29）

□ 手洗いや咳エチケット（マスクの着用）の指導ができていますか？（※教職員自身も励行してください。）（「新しい生活様式」P16-19）

- ・接触感染の仕組みについて児童生徒等に理解させ、手指で目、鼻、口をできるだけ触らないよう指導するとともに、接触感染を避ける方法として、手洗いを徹底
- ・手洗いの方法及びタイミングの指導

<タイミング>

- 【①外から帰った時】 【②咳やくしゃみ、鼻をかんだとき】 【③給食の前後】
【④掃除の後】 【⑤トイレの後】 【⑥共有のものを触ったとき】

- ・登校したら、まず手洗いをを行うよう指導
- ・手指消毒用アルコール（手洗い後の補助的な使用）の準備及び使い方の指導
- ・咳エチケット（マスクの着用を含む）について指導
- ・石けんや手指消毒用アルコールの準備
- ・緊急対応用のマスクの準備
- ・感染症対策用の持ち物として、各自に「清潔なハンカチ・ティッシュ」「マスク」「マスクを置く際の清潔なビニールや布等（マスク表面のウイルスが机などまわりに付着するのを防ぎ、衛生的に管理するため）」を持参するよう指導
- ・「保健教育指導資料 新型コロナウイルス感染症の予防 令和2年4月文部科学省」等を活用し、児童生徒等が本感染症を正しく理解し、感染のリスクを自ら判断し、これを避ける行動をとることができるように、感染症対策に関する内容を指導

【マスクの着用について】(「新しい生活様式」P31 参照)

学校教育活動においては、近距離での会話や発声等が必要な場面も生じることから、飛沫を飛ばさないよう、児童生徒及び教職員は、基本的には常時マスクを着用することが望ましい。ただし、次の場合には、マスクを着用する必要はない。

- 1 十分な身体的距離（概ね2メートル）が確保できる場合
- 2 熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外す。(ただし、マスクを外す場合には、できるだけ身体的距離を保つ、近距離での会話を控えるようにするなどの配慮をすることが望ましいが、熱中症対応が優先)
※熱中症も命に関わる危険があることを踏まえ、熱中症への対応を優先させること。
※マスクの取り外しについては、活動の態様や児童生徒との様子なども踏まえ、現場で臨機応変に対応することが重要。
※児童生徒等本人が暑さで息苦しいと感じた時などは、マスクを外したり、一時的に片耳にかけて呼吸したりするなど、自身の判断でも適切に対応できるよう指導する。
- 3 体育の授業においては、マスクの着用は必要なし。(配慮事項等についてはすでに通知済み)
- 4 登下校時には、人と十分な距離を確保できる場合（概ね2メートル）には、マスクを外すようにする。(⇒スクールバスも含め登下校については「新しい生活様式」P41-42 参照)

□ 学校医、学校薬剤師等と連携した保健管理体制を整え、清掃などにより環境衛生を良好に保っていますか？ (⇒「新しい生活様式」P19-22)

- ・特に児童生徒が手を触れる場所（教室・廊下・トイレ等のスイッチ・ドアノブ・手すり等）の消毒を継続するうえで、効率的にできるよう役割分担や消毒箇所・消毒方法などの確認（通知「新型コロナウイルス感染症に対応した校内の消毒に関する基本的な考え」「6月10日付け岡教保策202号<新型肺炎その43>学校における消毒の方法等について」及び新しい生活様式 P19 参照）
- ・可能であれば用品や物品の共用を避けるようにするが、消毒できるものについては消毒したり、共用物の使用後には手洗いをしたりするように指導
- ・消毒を行うにあたっては、使用する製品の新型コロナウイルスへの有効性や安全性、使用方法等について、信頼できる情報源や取扱説明書等をよく確認の上、適切に行うこと。
- ・学校医、学校薬剤師との連絡・相談体制の整備
- ・児童生徒の清掃活動は、共同作業を行うことが多く、共用の用具等を用いるため、換気のよい状況で、マスクを着用した上で実施。掃除が終わった後は、必ず石けんを使用して手洗いをを行うよう指導

□ 抵抗力を高めることが重要であることの指導を継続していますか？ (⇒「新しい生活様式」P22)

- ・「十分な睡眠」「バランスの取れた食事」「適度な運動」の周知徹底（家庭を含む）

□ 学校で感染者が発生した場合の臨時休業について、準備を行っていますか？（「新しい生活様式」P43）

- ・これまでの通知等をもとに、必要な手続きについて教育委員会・保健所と連携して対応するよう準備（座席表・校舎配置図・健康観察簿等は日頃から準備をしておきましょう。）

□ 部活動の当面の間の活動について、感染防止やけが防止にむけた取組内容や方法を工夫することについて全教職員で共通理解を図った上で実施していますか？（「新しい生活様式」P38）

（5月20日付け岡教保第127号「5月28日以降の部活動の再開にあたって」参照）

- ・活動内容の工夫（3つの条件の回避・当面の間のけが防止対策）
- ・発熱等の風邪の症状が見られる時は、部活動への参加を見合わせ、自宅で休養させるなどの対応の共有

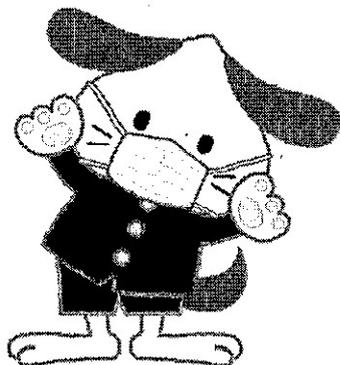
・部活動ガイドラインを遵守のこと

※週2日の休養日（平日1日・土日いずれかの一日）活動時間（平日2時間、休日3時間）朝練習は一日の活動時間に含み、放課後の活動時間が十分とれない場合に、学校生活や家庭等へ配慮した上で実施など

□ 学校給食の実施にあたり、感染防止のための工夫を行っていますか？（「新しい生活様式」P39）

感染レベル1の岡山市では、衛生管理を徹底した上で、通常の学校給食の提供方法をする事となっている。

- ・手洗いの徹底（食事の前後）
- ・給食当番の適切な服装（マスクの着用を含む）
- ・対面会食の回避（飛沫を飛ばさないよう机を向かい合わせにしない、または会話を控えるなどの対応が必要）
- ・給食当番及び教職員の健康管理及び配膳時の衛生管理



新型コロナウイルス感染症は長期的な対応が見込まれます。
みんな一人一人が感染防止に気をつけましょう！

「岡山市トップチーム応援プロジェクト」の実施について

○趣旨

岡山市を拠点として活躍するトップチーム（ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ、岡山リベッツ、トライフープ岡山）は、市民の誇りとなり、また、その活躍が市の活力となる力を持つと共に、その存在は市民の日常生活に浸透してきています。

これらトップチームの無観客等で実施されるホームゲームの開催を支援することで、活力ある市民生活の再開を目指します。

※各リーグの開催（再開）予定

- ・ファジアーノ岡山：6/27 J2再開（7/9まで無観客、7/10～ 入場制限）
- ・岡山シーガルズ：Vリーグ 9月（例年）
- ・岡山リベッツ：Tリーグ 11月（例年は9月）
- ・トライフープ岡山：Bリーグ 9月（例年）

○事業内容（ファジアーノ岡山版）

【第1弾】

6/27（土）19:00 ファジアーノ岡山 vs レノファ山口（Cスタ）

※リモートマッチ（無観客により実施される試合）

【コンセプト】

岡山市とファジアーノ岡山、そして市民が一体となり「ここから岡山市に元気を取り戻そう」という想いを、市とファジアーノ岡山がJ2の試合再開の機会を捉え発信するもの。

【概要】

- ・リモートマッチにより生じた空席スペースに岡山市とファジアーノ岡山が連名で横断幕を作成し、掲出する。
- ・予定サイズ 3.5m×7.0m
- ・掲出予定場所 バックスタンド中央
- ・デザイン 別紙のとおり

※ファジアーノ岡山への第2弾、その他のチームへの事業内容は、今後検討

【別紙】

ともに新たな ステージへ

～岡山市トップチーム応援プロジェクト～



岡山市

×

FAGIANO OKAYAMA



岡山市主催行事の開催に関する方針について

岡山市主催行事については、国の「基本的対処方針」を踏まえて、一定の移行期間を設け、概ね 3 週間ごとに地域の感染状況や感染拡大リスク等について評価しながら、新しい生活様式や業種ごとに策定されているガイドラインに基づく適切な感染防止策を講じることを前提に、段階的に規模要件（人数上限）を以下のとおり緩和することとする。

記

時 期			収容率	人数上限
移行期間	6月19日～	屋内	50%以内	1,000人
		屋外	十分な間隔	1,000人
	7月10日～	屋内	50%以内	5,000人
		屋外	十分な間隔	5,000人
【移行期間後】 8月1日を目途		屋内	50%以内	上限なし
		屋外	十分な間隔	上限なし